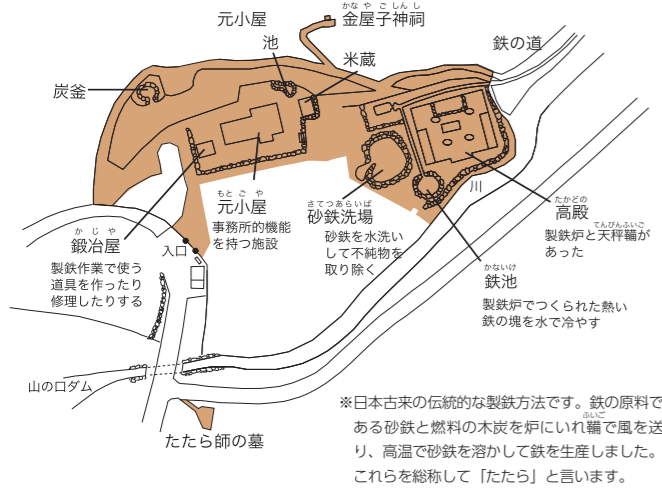


福栄地域にまつわるストーリー

おおいたやま 大板山たたら製鉄遺跡

案内ガイドは道の駅ハピネスふくえにお問合せください

江戸時代の製鉄所：たたら製鉄*の跡で、主要な建物跡などの遺構が一体的に残されています。萩藩最初の洋式木造帆船「内辰丸」の船釘や、いかりなどに使用する鉄素材もこの場所で作られました。幕末期における西洋技術の導入が、たたら製鉄のような在来の匠の技術に支えられ、行われたことがうかがえます。原料の砂鉄は島根県から北前船によって奈古港に荷揚げされ、荷駄（馬）で運ばれていました。



あかし たたら師の生きた証

江戸時代、たたら師は特別な技術者集団であり、その技術の流出をさけるため、地元民との交流は限られていたといわれています。遺跡内には、職人とその家族の墓があり、碑文から石州（島根県）や芸州（広島県）の人が動きに来ていたことがわかります。長久寺の過去帳（非公開）には、たたら師のものと思われる記録があり、西見山八幡宮には、石見銀山のたたら師が寄進したという石段と標柱も残っています。



世界遺産候補「明治日本の産業革命遺産」～萩の産業遺産群～

萩反射炉
西洋式の鉄製大砲製造を目指した萩藩が、安政3年（1856）に建設した反射炉の遺跡

恵美須ヶ鼻造船所跡
幕府の要請や木戸孝允の意見により、萩藩が設けた造船所の遺跡

日本は、幕末における西洋技術の導入以来、西洋以外の地域で初めて、かつ極めて短期間のうちに飛躍的な発展を遂げ、明治時代後期には産業国家としての地位を確立しました。萩の産業遺産群とは産業技術導入の最初期の遺産群で、「萩反射炉」「恵美須ヶ鼻造船所跡」「大板山たたら製鉄遺跡」「萩城下町」「松下村塾」の5つの資産で構成されています。幕末に西洋の技術を取り入れ、産業化を目指した地域社会の全体像とその特質をあらわしています。

萩城下町
幕末の産業化を目指した萩藩の、当時の地域社会を今に伝えている

松下村塾
吉田松陰が主宰した私塾で、幕末当時の地域社会における人材育成の場を示している

幕末・明治維新を陰で支えた福栄

てんぼうえつべいのち 天保関兵之地
天保14年（1843）、萩藩主毛利敬親は村田清風の進言によって、羽賀台で大操練（軍事演習）を行いました。藩主の本陣が置かれた台上の小高い丘には、大正6年（1917）に建てられた「天保関兵之地」という石碑があり、関兵の際に敬親が鞍をかけたという鞍掛松（2代目）も見ることができます。昭和41年（1966）には地元有志により桜が植えられ、現在では桜の名所としても親しまれています。

かねこしげのすけ 金子重之助（重輔）
天保2年（1831）、紫福村生まれ*といわれています。安政元年（1854）、吉田松陰とともに伊豆下田港に赴いて、渡米のため米艦に乗り込もうとするも拒否され、やむなく計画を中止、自首しました。その後、萩の岩倉獄に送られましたが、獄中で病死しました。福栄には昭和7年（1932）、仏光寺境内に、地元有志により石碑が建てられました。*諸説あり。写真は萩市椿東の吉田松陰誕生地の銅像。

森田家住宅
森田家は津和野の領主吉見家の浪人であった森田対馬が旧黒川村を開拓し、その功績によって代々庄屋をつとめ、早くから苗字帯刀を許された家柄。萩藩主の鷹狩の際は、休憩所や本陣にあてられたといわれています。主屋の建築は江戸中期で、吉田松陰の養母の久満の実家でもあり、国の重要文化財に指定されています。*外観見学可

福栄地域は、萩の城下町の後背地として米や野菜などの農産物を供給し、幕末においては軍事演習の場にもなっていました。

福栄の自然や文化と特産品

ひらわらびだい 平蕨台の雲海
福栄夢～らる雲海（平わらび台活性化交流施設）からの景色は撮影スポットの1つです。秋・冬の冷え込んだ朝には、台を覆い尽くす雲海の美しい景色が広がります。



福栄の田園風景
福栄地域では各所に山間の田園風景が広がっています。厳しい土地条件に工夫を重ね、基盤整備を進めてきたことで、現在も豊かな農村の田園風景を見ることができます。

おおいたやま 大板山たたら太鼓
大板山たたら太鼓は、たたら製鉄遺跡をテーマとして、製鉄炉の炎の力強さをイメージした創作和太鼓です。

福栄の特産品

福栄の4つの台地などの様々な素材から特産品が生み出されています。

- 羽賀台の関兵餅【通年】
- 平蕨台のぶどう【8～10月】
- 平蕨台の米・野菜
- 長沢台の長萩和牛【通年】

福栄 季節暦

春	夏	秋	冬
●節分祭（2月） ●わらび摘みフェスタ（4月）	●田植え ●商工祭（7月） ●道の駅祭り（8月）	●稲刈り ●ふるさと祭り（11月） ●森林だくさん祭り（11月）	●平蕨台の雲海 ●シクラメンフェア ●歳末市（12月）

施設のご案内
道の駅「ハピネスふくえ」
福栄地域で育った新鮮な農作物や花きなどの特産品を販売。また地元の食材を使った料理が自慢の食堂（やまぐち食彩店）もあります。
住所：山口県萩市福井下4014-2
TEL：0838-52-0356
時間：8：30～18：00 食堂11：00～16：00
定休日：年末・年始
※食堂のみ月曜日（休日の場合は翌日）

萩まちあるきマップ



福栄は、萩地域の東側に位置し、阿武台地の一角を占め、四方を緑の山に囲まれた農村地帯です。古くから人々が住み、農耕を中心とした営みが行われる中で、各地に礼所を置いてお遍路をする紫福八十八ヶ所や迫害を受けたキリシタン信者たちを受け入れたという隠れキリシタン伝説、修験の場として使われた山々、木喰五行上人が滞在して残した仏像、また多く存在する社寺では昔ながらの祭礼などが脈々と受け継がれており、大切にされてきた山里のおたからが数多く残されています。山間ののどかな田園風景が広がる信仰の里・福栄をのんびり巡ってみませんか。



このマップは萩まちじゅう博物館の各エリアのおたからを紹介するマップとしてシリーズで発行しています。詳しくは萩データベースでチェック!!
machiaku.city.hagi.lg.jp/db/

福栄おたからマップ

紫福八十八ヶ所

紫福地区には、弘法大師や観音堂などの札所を巡礼する八十八ヶ所霊場が現存しています。マップでは、その一部を紹介しています。

阿武火山群の溶岩台地

福栄には、約200万年前から約1万年前にかけて噴火した阿武火山群の溶岩台地などがあります。それらの台地の上には、農作物に適した肥沃な土壌が広がり、耕作地が開発されています。

阿武火山群の溶岩台地
耕作地

凡例

- トイレ
- 駐車場
- バス停
- 寺
- 神社

1 長久寺

長久寺には、鉄心寺から移された石像がいくつかあります。その一つである宝篋印塔には手を交叉した石像があり、この塔に並んで子供を抱いた地蔵と観音石像があります。この観音像の姿は、さながら聖母マリアを想像させます。

51 52 53 55

2 鉄心寺跡

伴天連墓と呼ばれる六角堂があります。伴天連とは、昔、日本で布教したキリスト教の外国人宣教師とのことです。

22 23 35 38 44 54 61

3 仏光寺

仏光寺には江戸初期(寛文年間)に建立されたとされる立派な楼門があり、その礎石のうち4基には、鎌倉中期から南北朝時代にかけ紫福の地頭であった見島氏の名が入った墓石が使用されています。

28 29

4 信盛寺

横93cm、縦36cmの扁額があります。信盛寺の山号「實相山」の文字が刻んであります。

9 宝宗寺

不動明王(左) 延命地藏菩薩(右)

8 願行寺

立木薬師如来像

6 徳蔵院

聖観世音菩薩

3 キリシタン祈念地

現在もキリスト教信者のお参りがあります

森田家住宅

この一帯の庄屋をつとめていた森田家の屋敷。吉田松陰の養母の実家でもあります

おすすめトレイル

石州街道・福井市を巡る(歩きコース) [約4.8km 約90分]

このあたりは石州街道の福井市と呼ばれ、金山八幡宮の参道から続く町並みは福栄地区の中心地として、昭和の中ごろまで大変賑わっていました。時代が重なってきた暮らしの証と、福栄らしい風景の中を歩いてみませんか。

5 道の駅ハピネスふくえ
6 徳蔵院
7 金山八幡宮
8 福井市の町並み
9 願行寺
10 田園風景
11 道の駅ハピネスふくえ

石州街道・福井市を巡る(歩きコース) [約4.8km 約90分]

天体ドームが目印です

昭和7年(1932)創業のお醤油屋さん

昭和22年(1947)創業の鍛冶屋さん。建物は昔、木賃宿でした

道の駅の敷地からは弥生~奈良時代の城跡が確認されました(施設内に解説パネルあり)

徳蔵院
金山八幡宮
白神鍛冶工場
フジノ醤油
願行寺

おすすめトレイル

隠れキリシタン伝説トレイル

福栄には、隠れキリシタン伝説が残されており、鉄心寺跡には伴天連墓と呼ばれる六角塔、長久寺には鉄心寺から移されたマリア観音像といわれる石像があります。16世紀半頃、山口では大内義隆によってキリスト教の布教が認められていました。しかし、大内氏が滅ぶと毛利氏のキリスト教弾圧が始まり、多くのキリスト教信者が山口から紫福へ逃れ、さらに江戸幕府の禁教令により、信者はひっそりと山里に隠れ住んだともいわれています。

1 長久寺 [マリア観音像]
2 鉄心寺跡 [伴天連の墓]
3 キリシタン祈念地

おすすめトレイル

木喰五行上人ゆかりの地を巡る

木喰五行上人は、江戸時代中期、全国を巡り歩いて修業をする中で、各地で仏像を彫って遺しました。福栄には寛政10年(1798)ころ滞在し、各寺で仏像をつくりました。現在、福栄では、9体の仏像が文化財として大切に保存されています。仏像自体を常時見学できるのは限られていますが、木喰五行上人ゆかりの寺を巡ることが出来ます。※仏像の見学には事前に各寺院の許可が必要です。

4 信盛寺 [『實相山』扁額]
8 願行寺 [立木薬師如来像]
9 宝宗寺 [不動明王]

西見山八幡宮

たたら師寄進の石段(標柱)もあります

鍋山石で作られた牛の像が祀られています。明治31年(1898)、紫福市の石工、大庭卯一氏の作品です

三位一体像

鍋山石で作られた牛の像が祀られています

2 鉄心寺跡

伴天連墓と呼ばれる六角堂があります。伴天連とは、昔、日本で布教したキリスト教の外国人宣教師とのことです。

3 キリシタン祈念地

現在もキリスト教信者のお参りがあります

萩藩が天保14年(1843)に大軍事演習を行いました

天保14年(1843)に大軍事演習を行いました

森田家住宅

この一帯の庄屋をつとめていた森田家の屋敷。吉田松陰の養母の実家でもあります

徳蔵院

聖観世音菩薩

願行寺

立木薬師如来像

宝宗寺

不動明王(左) 延命地藏菩薩(右)

金山八幡宮

福井市の町並み

徳蔵院

聖観世音菩薩

金山八幡宮

福井市の町並み

白神鍛冶工場

昭和22年(1947)創業の鍛冶屋さん。建物は昔、木賃宿でした

紫雲山

平原台の地形を生かし、ぶどうや柿が栽培されています

上野山八幡宮

境内には陰陽石があり石仏を撫でると、御利益(子授け)があるといわれています

信盛寺

横93cm、縦36cmの扁額があります。信盛寺の山号「實相山」の文字が刻んであります。

宝宗寺

不動明王(左) 延命地藏菩薩(右)

願行寺

立木薬師如来像

徳蔵院

聖観世音菩薩

金山八幡宮

福井市の町並み

徳蔵院

聖観世音菩薩

金山八幡宮

福井市の町並み

白神鍛冶工場

昭和22年(1947)創業の鍛冶屋さん。建物は昔、木賃宿でした

